令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 04-002

PDCA	事務事業名	アダプトプログラム推進事業	部課等名	企画部 市民協働課 市民協働担当	担当	237	
					内線等	富田	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第1章 協働によりともに高め合うまち					
		節： 第1節 協働のまちづくりの推進					
		基本施策： 2. コミュニティ活動支援					
		単位施策： (1) コミュニティの活性化					
	根拠法令等	半田市公共施設アダプトプログラム実施要綱					
	対象・目的	公園、道路、河川等の公共空間の美化及び保全等を目的として、市民がボランティアで管理するアダプトプログラムを実施する。地域への愛着、美化意識やボランティア意識を高め、協働により施設等の環境美化活動を推進する。					
	目的を達成するための手段・活動内容	市民、企業等に本事業の周知を行い、市と養子縁組を結んだ登録者（はんだクリーンボランティア）を増やす。 はんだクリーンボランティアの活動を支援するため、清掃美化活動に必要な物品及び備品の管理を適切に行い、これらを必要に応じ提供、貸与する。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	28年度	29年度	30年度	単位	
		①物品の提供（ゴミ袋）	701	694	629	セット	
		②物品の提供回数	101	128	123	回	
		③					
		事業費	462	519	538	千円	
		人件費	2,723	2,728	2,881	千円	
		総事業費	3,185	3,247	3,419	千円	
	活動単位当たりのコスト	28年度	29年度	30年度	単位		
	①物品の1提供当たりにかかるコスト	31	25	28	千円		
	②						
	③						
	成果	成果指標	28年度	29年度	30年度	単位	
		①はんだクリーンボランティア登録団体数	実績値	168	172	178	団体
			目標値	185	175	175	
②はんだクリーンボランティア登録者数		実績値			9,170	人	
		目標値			9,300		
③		実績値					
	目標値						
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	中程度	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある		
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない
	事業の評価・課題	C					
		登録者数については目標を達成できなかったが、団体数については、市報、ホームページでのPRや窓口での説明等により、目標を達成することができた。登録者数に関しては、アダプト登録を辞退される方もいるため、今後も活動を継続してもらえよう、活動意欲の高揚や支援の充実を図る一方、新たな登録者が増えるよう、積極的に制度の周知を図っていく必要がある。					
	A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進				
			アダプト登録者の意欲の高揚を図るため、今後も感謝状の贈呈を継続するとともに、アンケートを実施するなどアダプト登録者から直接意見を聞くことにより、更なる支援の充実を図る。また、新たな登録者を増やすため、効果的な制度の周知方法を検討する。				
		令和元年度の目標	成果指標	目標値	単位		
			①はんだクリーンボランティア登録者数	9,300	人		